



2024年6月6日

各位

会社名 株式会社 MIXI
代表者名 代表取締役社長 木村弘毅
上級執行役員 CEO
(コード:2121 東証プライム市場)
問合せ先 上級執行役員 CFO 島村恒平
(電話番号:03-6897-9500)

**第25期定時株主総会「第1号議案 定款一部変更の件」に関する
議決権行使助言会社 ISS 社の反対推奨に対する当社見解について**

当社は、2024年6月26日開催予定の第25期定時株主総会に付議する「第1号議案 定款一部変更の件」(以下「本議案」)に関し、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc.(以下「ISS」)が反対推奨しているとの情報を入手いたしました。

本議案に関して、以下のとおり当社見解を補足説明しますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. ISS の反対推奨内容

ISS は以下に掲げる点を根拠に、本議案について反対推奨しています。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の流行時は、株主総会の開催形式を柔軟にするケースが考えられたが、現在は収束している。
- (2) 提案された本議案の文言では、バーチャルオンリー株主総会が開催される条件が明示されていない。外国人投資家は、株主総会への物理的な出席を排除する動きについて懸念を表明する。

2. 当社の見解

当社といたしましては、「第1号議案 定款一部変更の件」は、株主の皆さまとの対話をむしろ促進することを目的としております。当社見解の詳細は以下のとおりでございます。

- (1) グローバル展開を見据えた多様な株主の株主総会への参加機会の確保、及び参加株主の増加に伴う株主との更なる対話機会の創出

従来の株主総会と異なり、バーチャルオンリー株主総会では、移動時間・費用など、会場に足を運びにくい株主の皆さまの物理的な制約を低減し、より多くの株主の皆さまにご出席いただける機会を提供することができます。ISS の懸念するような株主提案や委任状争奪戦などの議論を呼ぶ状況におきましても、バーチャルオンリー株主総会であれば、むしろより多くの株主の皆さまに議論にご参加いただく機会を提供でき、いただいたご意見をより有意義な株主総会、ひいては今後の企業価値向上に向けた事業活動に反映させていくことが可能になると考えております。このように、バーチャルオンリー株主総会は、当社と株主の皆さまとの有意義な対話を促進するものと考えております。

(2) 災害などの緊急時でも確実に株主総会を行い事業継続が行える環境の確保

当社は、緊急事態に備え、バーチャルオンリー株主総会を選択可能とし、株主総会の開催方式を拡充することが、株主の皆さまの利益に資するものと考えています。大規模災害下のような緊急時にあっても、確実に株主総会を開催し、事業を継続するため、バーチャルオンリー株主総会を選択可能にしておくことが、企業のリスクマネジメントの観点から重要であると考えております。

(3) バーチャルオンリー株主総会は株主の権利を制限するものではないこと

バーチャルオンリー株主総会であっても、物理的に開催する従来の株主総会と同様に、会社法の原則どおり、会社は株主の皆さまからの質問、動議、議決権行使を受け付ける必要があります。株主の皆さまのこれらの権利は十分に保証されます。

加えて、本議案が第25期定時株主総会において承認可決された場合でも、今後バーチャルオンリー株主総会を開催するためには、招集決定時に、株主の利益の確保に配慮しつつ産業競争力を強化することに資する場合として経済産業省令・法務省令で定める要件に該当することが必要です。

当社といたしましては、従来の方法にとらわれることなく、今後の企業価値向上に向けた事業運営において「真に有意義なもの」を積極的に追求してまいります。株主の皆さまとの最適な対話のあり方についても追求したく、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上